夕刊
磐城時報
二十一日發行

福島縣平市紺屋町十四 編輯兼發行 印刷人 岡田弘成
福島縣平市紺屋町十四 印刷所 磐城時報社
福島縣平市紺屋町十四 發行所 磐城時報社
一部金貳錢 一ヶ月金廿錢
廣告料一行十四字詰五十錢
日刊(日曜祝祭日)翌日休刊

平市會に新体制 小會派を全部解消 けふ滿場一致で決定

平市會は從來市政會、革新會、新興會、一新會、平和會の五小會派に分れてゐたが、時局に順應し市會の相剋摩擦を避け明朗な政治体制を布くため右小會を解消する氣運となつてゐたが、二十一日午前八時平市會議事堂に全員協議會を開き滿場一致小會を解消することとなり、將來の市會世話人として川崎、大谷、金古、鈴木(康)、萩原、吉田(寅)、多田井、酒井、藤田、永山の十氏をあげ同時に左の如き聲明をなした

聲明

吾人は現下重大時局に鑑み從來の各派を解消し渾然一体新政治体制に順應し戮力以て平市政の伸展を期す

八月二十一日

平市會議員一同

四百年据置貯金 好間同窓會で計劃 御下賜金拜授記念

好間村尋常高等小學校では農繁期托兒所を開設し畏くも、皇后陛下より御下賜金を拜受したが同校同窓會では之が記念と教育勅語渙發五十年記念とを兼ね十月三十日の記念日までに二百六十圓の寄附金を蒐集し、これを四百年間の据置郵便貯金とする事になつたが、現在の規則によれば四百年後には三十九萬二千五百八十六圓となるわけで、これを育英事業に充てるといふ。

防空講習會

平署管內防空關係講習會は二十一日午前九時から平市公會堂に開き久和警防課長の指示があつた

乾草增産週間

牛馬の飼料不足對策として縣並石城産馬組合では來る廿五日から一週間乳草增産週間を實施し牛馬一頭百五十貫の乾草を冬に備へることになりこの程管下各町村農會長、畜産部落團体長宛通牒した、この乾草週間中山間部は俗稱山明けを實施し部落民中手のあいてゐる者は總出動で草刈し適當な場所で乾燥の上自宅に貯藏するやう奬勵する、尙縣並に産馬畜産聯合會から奬勵金として團体に對して一等五十圓、一團体二等廿圓、二團体三等十圓、四團体が交附される事になつてゐる

松坂氏の送別會

平記者倶樂部では今回退職した讀賣新聞平通信部松坂淸作氏の送別會を二十一日午後五時からマルトモホールに開くが渡部平署長、靑沼市長、關內、渡沼兩縣議も參加する

石城梨豊作

石城郡特産として年々東京市場で秋の味覺界に羽振りを利かして來た〃磐城梨〃は今年は稀に見る豊作の上東京市場の自體取引から昨年に比し早くも三四割方の安値を唱へられるに至つたが、安値と言つても生産家としては豊作によつてその分が差引される譯であるから結局收入には何等の影響がないと言ふ譯、そこで郡農會方面でも〃今年は梨は安値で食べられます〃放送してゐる

玉川村地內の稻 續々枯死 縣に原因調査を依賴

玉川村の一部では湯本町入山炭礦の坑內から湧出する湯の流水を水田に引水してゐるが、最近水質の關係から稻の枯死するものの續出するに至つたので、增産を目指す折柄農民は狼狽しこの程水田二十五町步の地主はこれが對策として同村農會から縣に實地調査を依賴しその結果によつて恒久的對策を講ずることになり二十日縣に調査官の派遣方を申請した

一、口腔外科
一、レントゲン科
中野齒科
平市田町(電五〇九)
院長 中野惠次

豊間の傳馬船 鯛の豊漁で賑ふ

濱は大鯛の大漁景氣で賑はつてゐる、濱通り一帶特に豊間沖は連日鯛の豊漁に湧き返つてゐるが、漁區は岸から一里程度の近間で一人一日平均十貫目の釣り上げといふ嘗てない大漁振り、値段も極めてよく五十割(一貫目五圓)の高値、十六日主要食料品の統制價格實施の影響で東京市場に送つた分は一寸混亂したが、新價格は今後の魚相場に安定を與へたものとして濱では寧ろ歡迎してゐる

専賣局選手を迎へ 庭球豪華版

仙臺地方専賣局庭球部では九月七日平市に遠征して來るので石城歐式協會主催で左の如く試合を行ふ

▲七日午後二時磐中コート 平クラブ對仙臺専賣局
▲八日午前九時 炭礦聯盟對同
▲同午後一時 オール石城對同

軍用馬鍛練

石城郡南方部の軍用保護馬聯合鍛練會は左記日割で行はれる

▲二十二日勿來▲二十三日山田▲二十四日渡邊▲二十五日泉

應召商工業者 營業指導

四倉町では二十二日午後一時町役場に應召中の商工業者を集め營業後援指導並に軍人援護の打合せをなす

國勢調査 委員任命

來る十月一日全國一齊に行はれる國勢調査に對し四倉町の調査委員は左の諸氏が任命せられた(本町)荒川善太郎、鈴木宗平、佐藤熊藏、青木公丸、多島安吉、菅波康太郎、(仲町)長谷川長太郎、佐藤直之助、緒方賢一郎、佐藤房治、大須賀丑藏、長谷川酉次郎、(新町)佐藤榮喜、鈴木幸次郎、鈴木賢二、面川鎗之助、吉田壽三郎、菅波米吉、佐藤義助、豊田美孝、(田戸、栗木作)宮澤正己、佐藤信司、(蜆川)滿山平藏、(役場)小湊新助、小林瀧夫、折內武枝、永井勇次郎、小田健治、二十八名である。

まづいとは勿体なや 外米は流出正貨の變化身

東京 眞繼雲山

外米が不味いといふことは戰時下の國民として固より默して忍ぶべきであります。命をすらお國のために捧げられた多くの同胞あるを思へば、假りにも食物がまづいなぞとは言へた義理ではありません私は然うした美味、不味の詮議ではなく愛國の至情よりして外國依存主義の徹廢は主張したいのであります。

對岸の米國が石油、屑鐵を禁輸することによつて日本の外交轉換を牽制して居ります經濟的にも思想的にも、外國依存の舊殼を脫せねばならぬ今日の時代に斯かる洞喝に動かさるべきではないが、併し何れにしても大切な軍需資材は何處からなりと買はねばならぬ、先立つものは金であつて一錢の正貨といへども軍需資材の方に振向くべきであります。況んや國民が歡迎するでもなき外米を買ふために血の一滴の正貨を外國に出すことは何としても遺憾至極であります。靴が無ければワラヂで往かうといふ話なら分る。お米が無いから外國米を買ふといふ話なら二二が四の平凡な道行で、特別感心する所はないと思ひます。

一つは國民の心得も惡い。人間は米が無ければ生きてゆけぬといふものではない、米を食はぬ民族、米のない國は世界に幾らもあります。少くとも三度の食事の一回はお米でないことにする位は、國家の非常時、戰場にある身と思へば、何の苦もない話で、日本全國民が一齊に三度の內一回は米を食はないことにすれば、血の一滴で外米を買ふに及ばす、正貨は樂々と軍需一本に振向け得られる筈であります。左樣の談議は机上の空論、出來ぬ相談といふ批評もありませうが、これ以上に一日一食制の人さへあり、支那人、蒙古人は概ね二食制であります。又一獻によれば印度の小乘教徒は午前中一日一食に限られてゐます。これは食事を享樂と見るのではなく食事は命を保つ藥としての考へ方であります。

永年の習慣を直ちに一食制二食制にといふではない、三度のものは三度食へ、但しその一回は代用食にといふ注文は、軍國下に決して難題とは思はれず、それによつて外米を食はずに濟み、外米の代りに大切な軍需資材が買へるといふことなら、是れほど安易な御奉公はないと思ひます。それさへも出來ぬ、三度は三度とも米の飯にと頑張るのは時局認識を缺く駄々ッ子といふの外なく、國民は今こそ然うした不心得を是正すべきであります。

中支から

草野勝男君通信

謹啓、炎天燒く盛夏之砌り御一同樣益々御健勝之御事と遙察申上ます。

當中支最前線○○市も落ちて○月半、早くも復活して木々には平和其のものゝ如く、せみが鳴き大長江にはのどかに帆かけ舟が流れてゐます。

最前線に警備について以來御蔭を以て益々頑健御奉公に邁進致し居ります、何卒御休心下さい。

渡沼さんには昨年漢口にて御目にかゝりまして早一年です、弱かつたあの當時の恥しい体の今は全く大陸燒して軍人としての本分をどうやら全く出來るやうになりました、何卒〳〵御休心を。

同盟通信や各大新聞社の通信部も此の前線三町まで出張し自分達に日日新しいニュースを知らしてゐます。

歐洲の問題、それに近きは政變、實に內地に於ては多端多事に日を送られ居る事と存じます。

本日近衞公の親任式のニュースも有りました、又大S會の解散、あまりにも變り行くS界を我々軍人は唯表面のみ聞いては流し同じ事をくり返してゐるのみですが、其の內容に於て貴下方の樣な直接其の方面に御參與なさる方の毎日の御苦勞と御活躍とを遠く御察し申上げ、唯々感謝申上げて居ります。

何卒暑さの折精々御身御自愛成され御活動遊ばされるやう御祈り申上げます。

亂筆にて暑中御見舞申上ます。 敬具

小兒科・內科
酒井醫院
入院隨時
平市南町(電五五番)
醫學博士 酒井保

西日本の生活（一）

井上光輝

東京から北九州の某市に轉任して來た同僚の一人が、一番いやな思ひをしたのは市の衛生課だといふ。血まなこになつて、やつと捜し出した家に、停滯を重ねた荷物を運送店から引取つてやつと重荷をおろしたやうな氣持になつてゐると、こんどは家の一隈から惡臭がそよ風に吹き上げてくるのに惱まされはじめた。おびたゞしく氾濫した糞尿までも家と一緒に借り受けたわけだ。早速衛生課へ電話をかけて汲取人をよこしてもらひたいと申込んだ。しかしその日汲取人は來なかつた。翌朝、また衛生課へ電話した。衛生課は快諾した。しかもその日も汲人が現れない。變だと思つたが根氣強く電話で同じことを繰り返へした。一向に汲取人は姿を見せない。さうしてゐる間に糞壺には古い糞の上に新しいのが重ねられ、それが崩れはみ出して床下の方へ進出した。いよ〳〵家中には惡臭が充滿して、家人の鼻は既に幾分嗅覺を失つてゐたが、そよ風は隣り近所に猛臭を運んで行つた。區長に賴んで漸く汲取つてもらつたといふことであつた。理由は汲取人夫の配給がうまくいかないので、たゞ延引したといふだけのことである。しかしその同僚は、汲取りの度毎に惱まされてゐるらしく社でも衛生課へ何十度となく電話で哀願してゐるのを聞いた。社でもそれが話題になつた。すると他の同僚の一人が『君は汲取人夫にお禮をしたかネ』といふと、東京から來た同僚は、ちよつと怪訝な顏になつた。在來の同僚は續けて『それがコツだよ。このごろは、八百屋だつて炭屋だつてさうだよ』といふと傍らの一人が相搥ちを打つて『さうだ、さうだ。僕のとこでは燒酎なんか買つておいて、さあ一杯やりたまへといふやうな具合にやると、あゝ旦那すみません、といつてキューとのどを鳴らして飲んでしまふ。さうしておけば効果覿面だよ』といふ。みんな、なるほとさういふものかなあといつた顏で聞いてゐた。どうも劈頭から鼻持ちならぬ話で恐れ入るが、かうした配給の不圓滑とか、人夫の面子の墮落とかは、いろいろなかたちに現れてきてゐる。

文部省習字科檢定委員
國定書方手本筆者
鈴木翠軒先生御選定
愛國筆
清樂筆
一本金拾錢より金五圓迄
特約店
文魁文堂
電話313

精神修養に……
"謠曲と仕舞"
喜多流 白土會
『入會隨意』平市田町六九

大和田耳鼻咽喉專門醫院
電話一七〇番

簡易ノ金融
盡無城磐
蓄貯ノ味趣
町各内縣所張出

國策線上ノ改良品
鑄物の代用品生る
セメント製マンホール 金二五〇錢ゟ各種
同 風窓網 金五十五錢ゟ各種
平市南町二〇
發賣元 野内商會
電話一一番
燒土管 在庫豐富

胃腸
藥も實力
胃腸に若舞
早く若舞服用し丈夫になれよ
若舞のキキメは販賣店が證明
論より證據一回試せ
全く評判のよい
若舞（あかまひ）
胃痛・胃痙攣・胸痛・食過・飲過
急性慢性胃腸カタル・胃酸過多症
胃弱・常習便秘
定價五十錢ヨリ
東京市淺草區向柳原町二ノ一
本舖 鈴木誠心堂
一般藥店にあり
特約店
大平屋藥店
平市一丁目【電六四二】

内臓外科
整形外科
平市大町二番地
内木外科醫院
醫學博士 内木宗八
電話二九六番
入院隨時

産科・婦人科
◎入院隨時
平市田町
井坂醫院
電話五五九番

内臓外科
整形外科
レントゲン科
松村外科
醫學博士 松村亨
平市南町 松村醫院外科部

募集
永續者には將來の保證を致します
ボーイさん
◆堅實な營業方針の サロンのお客様は當地一流の方々です
◆色々な方に接することが 社交儀禮の實際に學び 成功の糸口ともなります
調理見習婦人
◆定評ある サロンの調理法を御傳授いたします
◆見習ひとして調理場に御勤務出來る御婦人に限る
◆14歳以上30歳迄の健康な方
◆3年以上勤續出來る方
◆親權者若くは本人御來談下さい
平市銀座街
電話592
サロン

外科一般
内臓外科
整形外科
肛門病科
性病科
レントゲン科
平市南町（平郵便局本局通り）
上田外科醫院
院長 上田耕作
電話一二九番

美味で滋養に富み安價で便利な
國策に添ふ理想的調味料を
御愛用願ひます知らず〳〵に丈夫になる
天與の食品
滋養調味料
商標印
出しの素（だもと）
一、原料 本品は太平洋の新鮮なる魚を加工し之を乾燥機にて十二分に火力濕乾製粉したものです化學的の調味料でなく天與の食料品であります。
一、特長 本品は最も安價にして少量で即座にダシが良く出て滋養に富み御便利ですから經濟上にも体位向上にも總てに適當な食品です。
一、用法 味噌汁には水一升量に付約三匁、味付御飯には米一升に付約五匁、野菜色々の味付等には十人前に付約四匁、又溫い御飯、漬物等に振りかけて召上るも格別です、特にお子様方の御飯には是非御用ひ下さい、其の他總ての味付に御使用願ひます。此の分量は標準ですから味のお好みにより御加減下さい、大量炊事の場合は約半分で充分です。
一、保存 濕氣を帶びないやう罐等に入れ置いて美味しく召し上つて下さい。
一、注意 他に類似品がありますから商標に御注意 印を御愛用願ひます。
特約店
平市五丁目 武子屋 小名濱町横町 伊藤商店
四倉町 面川商店
江名町 卜印渡邊商店
福島縣四倉港
製造販賣元
今井商店
電話一二八番
振替東京一三五六三〇番
四倉局私書函第三號
宮城縣塩釜町築港
今井商店鹽釜出張所
電話二五八番
体位向上のため是非御使用下さい

貸家廣告
○平市胡摩澤元タマルヤ跡
一、壹軒建拾壹間
一、八疊三間、六疊八間
病院又は旅館向外二二三十坪位の庭園あり
御希望の方は田町石川亭に御來談下さい
平市田町【電話四三番】
石川亭